

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの1月の販売室数が、月後半の休館の影響もあり前年比84%減であったのに対し、4月の販売室数は、前年が月半ばから休館していたこともあり、前年比413%増とプラスに転じている。
	○	百貨店(店舗企画)	販売量の動き	・3月から回復の兆しがうかがえ、ギフトの動き、新生活の動向等で売上は上向きになっている。ただし、4月下旬から当地はまん延防止等重点措置の対象地区となり、若干集客にブレーキが掛かっている感がある。
	○	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・弁当類の販売量が増えている。
	○	乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・夏場の需要に向けたレンタカー会社からの受注が、例年ほどではないが入ってきている。
	○	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・3月からの好調が続いている。新型コロナウイルスの影響が大きかった前年とは比較にならないが、販売数が前々年比で110%と伸びている。特に他キャリアからの乗換えが多く、好調の要因となっている。
	□	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・これだけ新型コロナウイルス感染者が増えてくれば、来客数は伸びないのが現状である。
	□	旅行代理店(マネージャー)	販売量の動き	・予約を受けたり取り消したりを1年以上繰り返している。空仕事ばかりで経費ばかり掛かり利益も出ない。
	□	住宅販売会社(代表取締役)	販売量の動き	・戸建て住宅や投資案件の建築契約がおおむね順調に推移している。
	□	住宅販売会社(役員)	販売量の動き	・新年度に入り、賃貸物件の移動時期でもあるので3～4月の売上は新型コロナウイルス発生以前の例年どおりに見込めるが、売買物件は良いともいえない。
	▲	一般小売店[酒](店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの勢いが止まらないため、営業自粛の期間が伸び観光客が来ない。
	▲	スーパー(企画担当)	販売量の動き	・3か月前と比較すると買上点数の減少が大きい。清明祭の影響で来客数は前年並みになるも苦戦する。
	▲	スーパー(販売企画)	販売量の動き	・前年は巣籠り需要により景気が良かったので、その反動が今月は大きく出た感がある。販売量と来客数も減少している。
	▲	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・4月のスタートには来客数が増加、1日当たり来客数が1000名を超えるなど期待感もみられていたが、新型コロナウイルス変異株の感染者増加傾向により、来客数は減数の一途をたどる状況となり、1日当たり700～900名弱の来客数に落ち込む。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスのまん延で来客数も減り、店舗も閉まって、大変苦戦をしている。
	×	コンビニ(副店長)	来客数の動き	・今月上旬は県独自の時短要請、12日からはまん延防止等重点措置、25日から主要都市の緊急事態宣言発出と、目まぐるしい1か月で、来客数、客単価の減少幅が大きい。
×	その他飲食[居酒屋](経営者)	来客数の動き	・4月12日からのまん延防止等重点措置により、20時閉店のなかで19時までしか酒類提供ができず、戻りつつあった入客が、特に官庁ビジネス街の店舗では一昨年の10分の1まで減少している。少しでも売上を上げるため、15時から店を開けたり、ランチ営業や弁当販売をして100食以上売上を上げているが、売価500円で原価50%以上では採算が取れていない。	
×	観光型ホテル(代表取締役)	来客数の動き	・新型コロナウイルス発生以前と比べて悪いのは変わりがない。3か月前と比べても悪くなっている。まん延防止等重点措置や大都市の緊急事態宣言の影響で宿泊客数が減少している。また、飲食部門は会議昼食が僅かで、夜の宴会は0件である。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	食料品製造業(役員)	受注量や販売量の動き	・前月に引き続き売上は順調に増加している。
	○	窯業土石業(取締役)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較し、見積依頼が公共、民間工事共に若干増加傾向にある。
	□	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新規の客の相談が、バタッと止まった。

	□	会計事務所（所長）	取引先の様子	・コロナ禍の状況が1年続き、経営上は低位の状況で継続しており、今より下がりようもないが、逆に好況となる要因もない。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—
雇用 関連	◎	—	—	—
(沖縄)	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・IT業界に関しては求人の多い状況が続いている。企業からの情報では、県外からのニアショア開発が増加しているとのことである。
	□	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・当社自体は好調な数字になってきたが、新型コロナウイルスで売上、利益が伸びている会社と、逆に以前より厳しくなっている会社と企業環境の2極化を感じる。
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人案件はあるが、求職者からの問合せが少ない。
	▲	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・コロナ禍以前であれば、採用求人数のピークとして1月、3～4月が同程度の増加数であったが、3か月前と比較し約1割減少している。同様に前月と比較しても約1割の減少傾向にある。
	▲	学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・新年度を迎えたが、再度新型コロナウイルスの影響がある。企業はまん延防止等重点措置など社会動向の様子をみているようである。
	×	—	—	—